

年度	R3
シートNo.	94
シート名	学校給食センター

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	IV 子どもたちが健やかに成長できるまち
	施策目的 (上位目的)	12 心身ともに健康で確かな学力を身につけた子どもが育つまちになる
	施策の方向	IV-12 子どもの「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」をバランスよく育むため、一人ひとりの発達段階や能力に応じたきめ細かな幼児教育、小学校教育、中学校教育、特別支援教育の充実を図ります。 IV-12 子どもを取り巻くさまざまな問題の解決に向けて、家庭・地域・学校は相互に連携を強め、三者一体となった取り組みを進めます。 IV-12 子どもや保護者が「食」の大切さについて学ぶことができるよう、教育活動全体のなかで食育を進めます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
	すべてのシートの合算	4.0	1.0	0.0

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)				
款	項	目	事業名	予算額
10	6	3	給食センター運営事業	335,449 千円
10	6	3	給食センターPFI運営事業	419,770 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				755,219 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
食と健康について理解し、望ましい食習慣を備えた健康な子どもが育っている。	食の理解と習慣の改善	改善	改善	改善	改善	改善	→	○	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	安全、安心、栄養のバランスに富んだ給食を提供する。		-	-	-	-	-			
0101	給食物資の入札、納品検査等により安全・安心な食料を調達する。	給食物資の入札回数	39回	39回	39回	39回	34回	→	×	コロナの影響あり
0102	細菌検査、温度管理、施設清掃等により食中毒を防止する。	食材・手指等の細菌検査回数	6回	6回	6回	6回	6回	→	○	
0103	検便、衛生指導等により衛生管理を徹底する。	衛生指導回数	1回/日	1回/日	1回/日	1回/日	1回/日	→	○	
0104	調理等工程、作業動線等を明確にし安全な調理をする。	調理回数	199回	199回	198回	198回	168回	→	×	コロナの影響あり
0105	地場産農作物を活用し、地産地消を推進する。	館林産農作物利用率	37.1%	36.7%	38.8%	38.9%	38.7%	→	○	
0106	消防訓練等を実施し、緊急事態に備える。	消防訓練等	2回	1回	0回	1回	0回	→	×	コロナの影響あり
0107	学校給食運営委員会を開催し、学校給食に係る課題を調査審議する。	委員会開催回数	2回	1回	1回	1回	1回	→	×	
0108	学校給食の放射能対策を実施する。	放射性物質検査の基準値超検体数	0検体	0検体	0検体	0検体	0検体	→	○	
事業名	給食センター運営事業	年度別決算・予算額(千円)	523,215	512,001	392,537	312,029	264,870	335,449		
02	学校・家庭等との共同により食育を推進する。		-	-	-	-	-			
0201	学校訪問等を通して子どもへの食育を推進する。	学校訪問クラス数	367組	446組	425組	302組	317組	→	×	コロナの影響あり
0202	献立会議の開催により、より良い献立等を協議する。	献立会議回数	11回	11回	11回	10回	9回	→	×	コロナの影響あり
0203	校内放送を通し、当日の給食内容への理解を深める。	校内放送回数	1回/日	1回/日	1回/日	1回/日	1回/日	→	○	
0204	食物アレルギーをもつ児童生徒へ対応する。	詳細献立発行回数	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	→	○	
0205	施設見学、食育講話等を通じて、学校給食への理解を深める。	施設見学会等回数	11回	9回	19回	21回	13回	→	○	
0206	家庭への食育情報を発信し、食育活動を支援する。	給食だより・献立表発行回数	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	→	○	
0207	食育ブログを通して、食育情報を発信する。	食育ブログの更新回数	1回/日	1回/日	1回/日	1回/日	1回/日	→	○	
0208	料理教室を開催し、食育を推進する。	料理教室参加人数	-	-	19人	47人	0人	→	×	コロナの影響あり
事業名	給食センター運営、児童生徒健康推進事業	年度別決算・予算額(千円)	523,215	512,001	392,537	312,029	293,065	335,449		
03	学校給食センターの運営を行う。		-	-	-	-	-			
0301	維持管理運営についてSPCと協議を行う。	PFI事業協議会の開催回数	-	-	1回/月	1回/月	2回/年	→	×	コロナの影響あり
0302	SPCの維持管理運営状況についてチェックする。	維持管理運営モニタリングの実施回数	-	-	随時	随時	随時	→	○	
事業名	給食センターPFI運営事業	年度別決算・予算額(千円)	-	-	877,978	421,727	422,252	419,770		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 多様化・複雑化するニーズに対応し、第五次総合計画後期基本計画の政策目的の達成や、市民の期待に応えられるよう教育環境を整備するために、学校給食センターの移転新築や食育の推進に努めてきた。
 施設を新設したことにより、施設見学や料理教室などにおいて、保護者や子どもたちに食に関する関心を高められた一方、「食物アレルギー対応食の提供」が進んでいない等、課題も残っている。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 保護者や学校のニーズは拡大する一方で、施設を新設したことによる栄養士の定数が減少となり、これからは今まで以上に効率的で効果的な学校給食の実施が求められる。
 今後も、安全・安心な学校給食を安定供給することを最優先としながら、あわせて食育の推進のため、学校と学校給食センターが相互に連携するとともに、維持管理運営においては、PFI事業者とさらに連携して学校給食の充実に努めていきたい。